

# 公立大学法人金沢美術工芸大学 第2期中期目標期間(平成28年度～令和3年度)業務実績報告の概要

資料番号  
2

## 1 第2期中期目標期間68項目の実施結果(令和4年3月末日現在)

※は、見込評価時

大項目(項目番号)	I	II	III	IV	合計	
	実施していない	十分には実施していない	十分に実施している	上回って実施している		
教育研究等の質の向上	教育(1～23)	0	0	17 ※ 18	6 ※ 5	23
	研究(24～30)	0	0	4 ※ 4	3 ※ 3	7
	その他社会連携等(31～38)	0	0	6 ※ 6	2 ※ 2	8
	小計	0	0	27 ※ 28	11 ※ 10	38
業務運営の改善及び効率化(39～46)	0	0	6 ※ 8	2 ※ 0	8	
財務内容の改善(47～56)	0	0	9 ※ 9	1 ※ 1	10	
自己点検・評価及び情報の提供(57～60)	0	0	2 ※ 3	2 ※ 1	4	
その他業務運営(61～68)	0	0	7 ※ 7	1 ※ 1	8	
合計	0	0	51 ※ 55	17 ※ 13	68	

## 2 第2期中期目標業務実績

大項目	中期目標に対して順調に実施している項目	今後の課題が残った項目
大学の教育研究等の質の向上	<p>1 学部の教育目標及び各科・専攻の教育方針に基づいた汎用的な教養と専門的な造形力を修めた職業人の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ DPとCPの関係や体系性について、全学で協議するとともに、明確化のためカリキュラムマップを作成した。</li> <li>○ 教養科目として「金沢の文化行政」「キャリアデザイン」「社会学Ⅰ」「社会学Ⅱ」を新設し、実務経験のある教員や講師が講義を行うなど、汎用的能力を培う教育を実践した。</li> <li>○ 金沢マラソンの完走メダルデザインなど、学生が身につけた学びを实践させる活動を支援し、大学として地域連携・産学連携事業を推進した。</li> </ul>	
	<p>2 学生に対する教育研究指導体制の強化、及び教育研究に必要な施設、設備等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「金沢21世紀美術館キャンパスメンバーズ」「国立美術館キャンパスメンバーズ」に加入し、学生がアートに関して学ぶ機会を充実させた。</li> </ul>	
	<p>3 学部教育と大学院教育のそれぞれに相応しい学習支援体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2年度からの国の修学支援新制度の対象外となる大学院生の修学継続を支援し、経済的に修学困難な学生を対象とした「授業料等減免」制度を本学独自の支援制度として整備した。</li> </ul>	
研究	<p>4 入学者受入方針の不断の検証と積極的な入試広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コロナ禍においてもオンラインオープンキャンパスを開催し、本学の情報を全国の受験生や保護者等に発信した。</li> </ul>	
	<p>1 地域文化の振興、国際的な交流の促進を目的とした研究拠点の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「平成の百工比照」として工芸に関わる見本、道具、材料等を収集し、保存と公開、教育利用の活用の整備を行った。</li> <li>○ 金沢市で開催されたユネスコ創造都市ネットワーク分野別会議2019において、「平成の百工比照」を展示するなど、本学の研究成果をアピールした。</li> <li>○ 「教員研究発表展」の開催や、教員研究費による研究成果の紀要への公開を通じ、本学の研究成果を広く公開した。</li> </ul>	
その他社会連携等	<p>1 社会との連携のさらなる推進及び教育研究成果の積極的な社会への還元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 奥能登国際芸術祭、奥能登国際芸術祭2020+に専攻を超えた教員・学生のチーム「スズプロ」として出展し、本学の教育研究活動を広く発信した。</li> </ul>	
	<p>2 学生や教員の海外の大学をはじめとする国際交流展開の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研究生制度の改正、日本滞在中の外国人留学生在が日本の文化に触れる「KANABI工芸セミナー」の開講、日本語講座の開設準備等、外国人留学生受入環境を向上させた。</li> </ul>	
業務運営の改善及び効率化	<p>1 学長の指導力の下、教職員による柔軟で機動的な大学運営の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コロナ禍に対応するため、KANABI-Portalを立ち上げ、オンライン授業の構築を行った。</li> <li>○ 学習に対する学生の需要や研究に対する社会の要請を踏まえたデザイン科の組織再編や、工芸科改革の方針を決定した。</li> </ul>	
財務内容の改善	<p>1 外部資金、寄付金等の獲得に向けた積極的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業や地方公共団体からの依頼に基づき、毎年概ね30,000千円の受託研究収入を得て、美大ならではの新しいデザインの提言を行った。</li> </ul>	
自己点検・評価及び情報の提供	<p>1 大学における教育研究活動や特色の積極的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「一般財団法人大学質保証・評価センター」の大学認証評価を受審し、地域連携・産学連携の取り組みや「平成の百工比照」収集等が高く評価された。</li> <li>○ 新キャンパス移転に向けた広報として、本学客員教授で映画監督の米林宏昌氏のトークライブや井上涼氏のトークショー等を行い、美大への関心を高める機会とした。</li> </ul>	
その他業務運営	<p>1 新キャンパス構想の具現化を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 金沢市や設計業者と協議し、「開かれた美の探求と創造のコミュニティ」という基本コンセプトを実現するための新キャンパス整備に寄与した。</li> </ul>	